



平成30年2月8日

各位

会社名 **藤久株式会社**  
FUJIKYU CORPORATION  
代表者名 代表取締役社長 後藤 薫徳  
(コード：9966 東証第一部・名証第一部)  
問合せ先 取締役総務部長 樹神 雄二  
(TEL 052-774-1181代表)

業績予想の修正、剰余金の配当（中間配当無配）の決定及び配当予想の修正（無配）  
並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年11月7日に公表しました平成30年6月期通期（平成29年7月1日～平成30年6月30日）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、平成29年12月31日を基準日とする剰余金の配当（中間配当無配）及び平成30年6月期の期末配当予想を修正すること並びに役員報酬の減額実施を決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 平成30年6月期通期業績予想の修正（平成29年7月1日～平成30年6月30日）（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	22,316	359	365	17	4円16銭
今回修正予想（B）	21,047	△538	△530	△1,034	△246円15銭
増減額（B-A）	△1,268	△898	△896	△1,052	—
増減率（%）	△5.7	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成29年6月期）	21,387	△4	5	△520	△123円72銭

2. 業績予想修正の理由

当第2四半期累計期間におきましては、来店客数の減少に対する各種改善策を実施してまいりましたものの、顕著な効果が見られず、特に会員以外の一般のお客様が、EC業態や100円均一業態等の競合他社へ、予想を超えて大きく流れるなどの傾向が継続していると思われまます。全業態既存店売上高が前年同期比5.1%減となった第2四半期累計期間の業績動向等を勘案し、下期の売上計画を見直しました結果、通期の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

利益面につきましては、売上総利益の減益が見込まれる中、下期の予算を見直し経費の効率的な使用に努めてまいりますが、営業利益及び経常利益ともに前回予想を下回り、営業損失及び経常損失となる見込みとなりました。また、当第2四半期末において、将来の課税所得を保守的に見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討しました結果、繰延税金資産を全額取り崩したことに伴う法人税等調整額2億7百万円を計上したことにより、通期におきましても当期純損失となる見込みとなりましたので、上記のとおり通期業績予想を修正いたします。

### 3. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成29年11月7日公表)	前期実績 (平成29年6月期)
基準日	平成29年12月31日	同左	平成28年12月31日
1株当たり配当金	0.00	10.00	10.00
配当金総額	—	—	42,046千円
効力発生日	—	—	平成29年3月1日
配当原資	—	—	利益剰余金

### 4. 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		10.00	20.00
今回修正予想		0.00	0.00
当期実績	0.00		
(ご参考)前期実績 (平成29年6月期)	10.00	10.00	20.00

### 5. 理由

当社は、剰余金の配当等の決定に関する方針として、利益配分につきましては収益の状況や配当性向を総合的に勘案したうえ、利益還元を行うこととしております。

しかしながら、当第2四半期末におきまして当期純損失を計上いたしましたことから、平成30年6月期の中間配当を見送らせていただくことを決議いたしました。

また、通期業績予想を修正することに伴い、期末配当予想につきましても、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきたいと存じます。

(注) 上記の予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

### 6. 役員報酬の減額について

当社は、この度の業績予想及び配当予想の修正を真摯に受け止め、その経営上の責任を明確にするため、役員報酬の減額を実施することといたしますので、お知らせいたします

#### (1) 役員報酬減額の内容

代表取締役（1名）：月額報酬の50%  
専務取締役（1名）：月額報酬の25%  
常勤取締役（6名）：月額報酬の10%

#### (2) 対象期間

3カ月間

以上